



People Tree Fair Trade History

活動をはじめから20年間の歩みを振り返るとともに、世界と日本におけるフェアトレードや環境に関する代表的なトピックスを紹介。欧米では約60年前からフェアトレードの活動が始まり、今では認知度も7割を超えるなか、日本でのフェアトレードの認知度は現在まだ2割にも達していません。ピープル・ツリーの活動が、フェアトレードをさらに広め、世界を変えるツールとなるよう今後も努力していきます。

ピープル・ツリーの歴史

1991年11月

ナミビアの手芸品を紹介するイベントを開催。環境・国際協力NGO「グローバル・ヴィレッジ」発足。(写真1)

1993年10月

「アース・カタログ」を発行し、フェアトレード商品の通販販売を開始。(写真2,3)
インド、ジバパエ、ケニア、ハングラデシュ、フィリピンの生産者グループと協力し、商品の開発をスタート。

1995年1月

グローバル・ヴィレッジのフェアトレード事業部を法人化。「フェアトレードカンパニー株式会社」を設立(資本金1千万円)。

1996年

IFAT(国際フェアトレード連盟*)に加盟。
※2009年より、WFTO(世界フェアトレード機関)に改称

1997年4月

オーガニックコットン、草木染めなど地球にやさしい商品を開発。(写真4,5)
「5つの環境ポリシー」を確立。

1998年4月

直営店「ザ・フェアトレード・カンパニー」を東京・自由が丘にオープン。(写真6)
※現「ピープル・ツリー 自由が丘店」

1999年3月

「アースカタログ」を100ページのカタログ雑誌「アースカタログ&マガジン」に体裁変更。(写真7)

1999年5月

日本全国100店舗のフェアトレード・ショップと連携し「国際フェアトレードデー(現・世界フェアトレードデー)」のキャンペーンを実施。

2000年2月

ブランド名を「ピープル・ツリー」に決定。直営店と通販カタログの名称を同名に変更。(写真8,9)

2000年12月

資本金を6千万円に増資。

2002年5月

「国際フェアトレードデー」が「国際フェアトレード・デー」がIFAT加盟の組織に広がり、世界同時開催される。(写真10)
以降毎年5月の第2土曜日に「世界フェアトレードデー」を世界同時に開催(写真23)

2003年6月

IFAT国際会議でフェアトレード団体認証制度発足。フェアトレード団体として認証を受ける。

2004年9月

代表サフィア・ミニニーがスイスの「ショウブ財団」により、「世界で最も傑出した社会起業家」のひとりに選出される。

2004年12月

テレビ東京「ガイアの夜明け」で「ファッションが貧困を救う」にて、フェアトレードが取り上げられ、サフィア・ミニニーの活動を紹介。

2005年8月

直営第2号店「ピープル・ツリー 表参道店」を東京・表参道にオープン。(写真11)

2005年12月

香港のWTOの世界閣僚会議と並行して開催された会議でフェアトレードのファッションショーを行う。(写真12)

2007年4月

モードファッション誌「VOGUE JAPAN」6月号誌上で、ニューヨーク、ロンドン、東京の4デザイナーとのコラボレーション作品を発表。(写真13)
これを機にデザイナーズ・コレクションがスタート。(写真15,20,21)
また、ビルケンシュトック「TATAMI」とのコラボレーションサンダルも発表。(写真14)

2008年1月

ロンドンに「People Tree Fair Trade Group」を設立。グループ会社体制に。

2008年5月

サフィア・ミニニーが自叙伝「おしゃれなエコが世界を救う」女社長のフェアトレード奮闘記」を出版。(写真16)

2008年7月

テレビ東京「カンパリア宮殿」にサフィア・ミニニー登場。

2009年5月

サフィア・ミニニーがフェアトレード・ファッションのヴィジュアル・ブック「By Hand 世界を変えるフェアトレード・ファッション」を出版。(写真17 イギリス版,18 日本版)

2009年6月

フェアトレードとファッション業界への功績が認められ、代表サフィア・ミニニーがイギリス政府より大英帝国勲章 第5位(MBE)を授与される。

2009年9月

直営第3号店「ピープル・ツリー モザイク銀座本店」を東京・銀座にオープン。(写真19)

2010年4月

イギリスの女優、エマ・ワトソンをクリエイティブ・ディレクターに選任、ユース・コレクションを発表。(写真22)

2010年11月

WGSNグローバル・ファッション・アワード2010にて「最優秀サステナブル・ブランド&リテラー賞」を受賞。(写真24)

2011年

創立20周年(写真25)

'91 '93

'95 '96 '97

'98 '99

'00 '02

'03 '04 '05

'07 '08

'09 '10 '11

主要な生産者団体の製品の販売開始年
※()内は主な生産品

●1994年

ハングラデシュ: MCG (シュート、手造紙製品)、シュート・ワークス (シュートの雑貨)

●1995年

インド: シュロフ・セルフ・ヘルプ (手織り、ブロックプリントの衣料品)
ペルー: ミンカ (アルパカ製品)
スズ・タクロ (チョコレート)

●1996年

ハングラデシュ: タナバラ・スワローズ (手織り、手刺繍の衣料品)
ケニア: ボンボル・ワークショップ (真鍮素材のアクセサリーなど)、メル・ハーブ (ハーブティー、ジャム)
インド: コダバリ・デルタ・レース (レース編み製品)、タラ・プロジェクト (ピース・石織工のアクセサリー)
フィリピン: サフィア・ハンディクラフト (モララ草の製品)

●1998年

インド: アシシ・ガーマンツ (オーガニックコットンの衣料品)、サチャ・ハンディクラフト (手織り、手刺繍の衣料品)

●1999年

ネパール: イクムセワール職業学校 KTS (ニット製品)

●2001年

ハングラデシュ: フォーク・ハングラデシュ (手織りの衣料品)

●2003年

ハングラデシュ: アーティザン・ハット (手織りの衣料品、服飾雑貨)

●2004年

ハングラデシュ: ディヘロップメント・ウィール (竹・草の手織み製品)

フェアトレードや環境問題に関する世界の出来事

1940年代
アメリカのキリスト教系慈善団体(テンザウサード・ビレッジの前身)の職員がプエルトリコから刺繍の商品を購入。

1956年
熊本県水俣市で水俣病発生。人類史上初の環境汚染による病気であるといわれる。

1958年
アメリカでフェアトレード・ショップ第一号店が開店。

1960年代
ペルーのミンカやインドネシアのPEKERTIなど途上国でフェアトレード団体が設立される。

1960-1975年
ベトナム戦争。

1962年
アメリカの作家、レイチェル・カーソンが『沈黙の春』を発表。

1967年
サンフランシスコを中心に花を身につけ「武器でなく、花を」という反戦、平和主義を掲げた「フラワーチルドレン」が広まる。

1970年
アメリカにて第1回アースデイ開催。

1974年
作家・有吉佐和子が『複合汚染』を朝日新聞に連載。

1989年
IFAT(国際フェアトレード連盟)(現 WFTO) 設立。世界61ヶ国270団体加盟する。

1990年
日本にてアースデイ開催。

1992年
リオ・デ・ジャネイロで地球サミット(環境と開発に関する国際連合会議)開催。12歳の少女、セヴァン・カリス=スキのスピーチが話題に。

1995年
阪神淡路大震災発生。ボランティア活動が盛んになる(1998年にNPO法人制度ができる)。

1997年
●国際フェアトレードラベル機構(FLO) 設立。
●ハイブリット車の市販車が初めて登場。
●京都議定書が議決。2008年~2012年の間に先進国全体の温室効果ガスを1990年比で約5%以上削減することを定める。
●フェアトレード団体が設立される。

2001年
●アメリカ同時多発テロ。
●1971年発足の環境庁を改組。環境省発足。
●スローライフ、スローフードが話題になりはじめる。

2003年
●環境プロジェクトに融資を行う非営利組織、ap bankが誕生。
●第1回「100万人のキャンドルナイト」開催。

2004年頃
●ケニア出身の女性環境保護活動家・ワンガリ・マータイが、ノーベル平和賞を受賞。翌年、日本に来日した際「もったいない」という言葉に感銘を受け、世界共通の言葉として広める活動を開始。

●健康と持続可能性のあるライフスタイルを表現する言葉、LOHAS(ロハス)が話題になる。

2005年
貧困撲滅の運動として、ホワイトバンドプロジェクトがイギリスやアイスランドをはじめ各国で展開。

2006年
映画「不都合な真実」が公開。

2007年
元アメリカ副大統領、アル・ゴアがノーベル平和賞を受賞。

2008年
●北海道洞爺湖サミットにて、日本がクールアース50を提案。2050年までに世界全体の温室効果ガスを半減させることを呼びかける。
●ファストファッションが日本に浸透。

